



震災遺産のコーナーでは、動かなくなった時計など現物を展示。希望すれば学芸員の展示解説を無料で受けられます。複合災害の現実と、対策の重要性を身近に感じられるように工夫された展示内容です。

震災遺産のコーナーでは、動かなくなった時計など現物を展示。希望すれば学芸員の展示解説を無料で受けられます。複合災害の現実と、対策の重要性を身近に感じられるように工夫された展示内容です。

震災遺産や歴史資料、民具などを保管する収蔵庫や整理作業室なども見学できる。館内のすべてを見て回るなら1時間30分ほど。学芸員がすべて解説するフルアテンドなら3時間程度かかるという



1階展示室。前半は古代から現代に至る富岡町の歴史や文化の資料を展示し、紹介している。後半は映像と震災遺産を多数展示し、被害の大きさを伝える。町の特徴が学べるワークショップや体験会も開催



津波に飲まれ河口付近で発見されたバトカー。震災当時2人の警官が乗っており、住民の避難誘導にあたったが殉職。県警や遺族の理解、住民有志の協力を得て展示されている

●とみおかまち

## 富岡町

### とみおかアーカイブ・ミュージアム

●とみおかあーかいぶ・みゅーじあむ

町の歴史や文化を伝えるとともに、震災遺産を紹介



最大震度 6強

浸水面積 1km<sup>2</sup>

最大浸水深 21.1m



全壊

355棟

半壊

2,819棟

一部損壊

2,130棟



注①

死者

479人注②

注③

行方不明者

負傷者

不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠  
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

平

成23年(2011)3月11日に津波が到達し、12日に水素爆発が起こった東京電力福島第1原発。富岡町の住民は当たり前の日常を奪われ、違う土地で暮らす覚悟ができません。町を離れざるを得なくなりました。

とみおかアーカイブ・ミュージアムでは、東日本大震災と原発事故で生じた震災遺産などを紹介しています。町を襲った突然の複合災害を、文化や歴史などを織り交ぜながら順を追って解説。館内では、震災から10年間の町の記録や町民の被災体験など3本のシアター動画に加え、プロジェクトシヨムマップで町の被災状況や避難指示区域の変遷、避難経路なども説明しています。

震災遺産のコーナーでは、動かなくなった時計など現物を展示。希望すれば学芸員の展示解説を無料で受けられます。複合災害の現実と、対策の重要性を身近に感じられるように工夫された展示内容です。

展示

交流拠点

施設ガイド

音声ガイド

車椅子OK

施設DATA

●とみおかあーかいぶ・みゅーじあむ

とみおかアーカイブ・ミュージアム

☎ 0240-25-8644 MAP P116F3

📍 富岡町本岡王塚760-1

🚗 常磐自動車道常磐富岡ICから車で10分

🕒 9~17時(最終入館は16時30分)

🌙 月曜(祝日の場合は翌平日)

🆓 無料

🅇 あり(大型バス:あり)

注① 2023年2月28日、富岡町生活環境課まとめ 注② 関連死を含むうち行方不明者6人

### 考えてみよう

Q1 富岡町では震災時の時計を多く保存しました。展示されている時計が、さまざまな時間で止まっているのはなぜでしょうか?

Q2 震災以前の富岡町の特徴・成り立ちに関する展示が50%を占めている同施設。なぜこのような展示構成なのでしょう?

A1 地震で止まったり、津波で止まったり、さまざまな理由があげられる。 A2 大規模災害の結果はその地域の歴史や文化と切り離せないとの考えから。